

くすりのしおり

622237601

2013年6月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：クエチアピン錠 50mg「アメル」

主成分：クエチアピソフマル酸塩（Quetiapine fumarate）

剤形：微黄色の錠剤、直径約 7.6mm、厚さ約 3.6mm

シート記載：

（表）クエチアピン 50mg「アメル」、50、Que アメル 50、50mg
「アメル」、クエチアピン

（裏）Quetiapine 50mg《AMEL》、クエチアピン 50mg「アメル」、
50mg、GS1 コード



この薬の作用と効果について

脳内の各種受容体（ドパミン、セロトニン）に作用し、強い不安感や緊張感、意欲の低下などの症状を改善します。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。糖尿病またはその既往歴がある。
- ・ 妊娠または授乳中
- ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ あなたの用法・用量は◀ : 医療担当者記入 ▶
- ・ 通常、成人はクエチアピンとして 25mg を 1 日 2 または 3 回服用することから開始し、状態に応じて徐々に増量され、1 日 150～600mg を 2 または 3 回に分けて服用します。年齢・症状により適宜増減されますが、1 日 750mg を超えることはありません。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・ 飲み忘れた場合は、気がついた時、できるだけ早く 1 回分を飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の通常の服用時間に 1 回分を飲んでください。絶対に 2 回分を一度に飲んではいけません。
- ・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・ 眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下があらわれることがありますので、車の運転、高所での作業、危険を伴う機械の操作などはしないでください。
- ・ 体重が増えることがありますので、食事・運動に気をつけて太り過ぎないように注意してください。
- ・ 飲酒により薬の作用が強くあらわれることがありますので、服用中の飲酒はひかえてください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、不眠、神経過敏、傾眠、倦怠感、不安、易刺激性などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 口渇、多飲・多尿、頻尿 [高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡]
- ・ 脱力感、冷汗、手足の震え [低血糖]
- ・ 筋肉のこわばり、嚥下（飲み下し）困難、発汗 [悪性症候群]
- ・ 筋肉痛、脱力感、赤褐色尿 [横紋筋融解症]
- ・ けいれん [痙攣]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局に相談してください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。